

兵庫県篠山市 ～遊休農地をコスモス畑に再生～

地域指定	一部特定農山村、一部振興山村
農業地域類型	中間農業地域
経営耕地面積	3,718ha
耕作放棄地面積	農家86ha 土地持ち非農家35ha 計121ha

数値は2005年農林業の概数値

【地域の概要】

当市は兵庫県の中東部に位置し、京阪神都市部から50km圏内にありながら兵庫県の内陸地域として自然豊かな生活文化圏を形成している。気候は盆地特有の昼夜の温度差が大きく、概して内陸型気候と言える。

農業は水稻を基幹作物とし、立地条件にあった複合経営がなされ丹波黒大豆、山の芋、丹波大納言小豆など全国ブランドとしてその価値を高めている。

【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

農業従事者の高齢化、担い手不足、生産意欲の低下、不在地主の発生などに加え、山間部では鳥獣被害が顕著である等の要因で農業離れが進む中、農地の流動化を推進しているが、農地の荒廃が多く見受けられるようになった。

荒廃が著しい耕作放棄地は、個人所有の機械では解消が困難。周辺農地に及ぼす影響や環境美化、市民に啓発を促す意味において耕作放棄地の解消に取り組んだ。

耕作放棄地解消に向けた取組（農業委員会）

耕作放棄地解消面積：1ヘクタール 取組時期：平成12年度～

平成12年度から市内全農家に対し農業経営に対する意向調査（アンケート）を実施。

13年度は、各集落の農政協力員集落アンケートという形で協力願い、耕作放棄地と荒廃地を洗い出し、地図に落とし込む作業及び空き家調査を実施。

14年度は、農地パトロール、現地調査等を踏まえ、再生する農地を決定した。

15年度は、荒廃農地を復旧する作業に入った。当面は国道沿の農地45aをコスモス畑に復旧。草刈り、排水作業、除草、耕耘、播種などボランティアの協力により復旧。翌年度からは、借り手として地元農家に利用権を設定した。

16年度も前年と同様に他の荒廃地を選定し30aを復旧した。

